



平成29年2月21日（火）に、ボルファートとやまにおいて「平成28年度 立山砂防関係工事安全施工管理技術研究発表会」を開催しました。

この発表会は、平成8年12月6日に発生した蒲原沢土石流災害を教訓として、砂防工事における安全施工管理技術の向上と安全対策や創意工夫などの情報共有を目的として、平成11年度より開催し、今回で18回目の開催となり、関係者211名（後援機関等62名、コンサル等37名、工事関係受注者112名）が参加しました。

本年は27編の応募論文から、他の工事の参考となるという観点で審査を行い、8編の論文を選出し、発表、表彰しました。また、特別講演として、北陸地方整備局企画部高島地方事業評価管理官より「北陸のi-Constructionについて」と題し、国土交通省で進められているi-Constructionの取組と北陸地域における展開と課題について講演がありました。



会場の様子

【審査結果】

最優秀賞

丸新志鷹建設（株） 藤本 一行
「H28瀬戸蔵砂防堰堤下流床固工工事における安全管理」

優秀賞

(株) 干場建設 蔵田 幸一
「工事用道路施工における安全対策について」
(株) 高田組 橋場 洋平
「本工事における通信環境改善について」

奨励賞

中越興業（株） 松田 孝之
「砂防堰堤工事におけるリスク低減対策について」
新栄建設（株） 北村 涉
「砂防堰堤工事における安全対策について」
水新建設（株） 石崎 崇志
「安全対策の新たな取り組み」
ダイチ（株） 松浦 薫
「斜面对策工事における安全対策について」
高尾建設（株） 阿部 雄峰
「白谷川砂防堰堤工事における安全対策について」



主催者挨拶
工事安全対策協議会長（立山砂防事務所長）



論文発表状況



表彰式



特別講演
「北陸のi-Constructionについて」



講演 富山労働基準監督署長



受賞者・協議会役員との記念撮影